

日時 令和5年11月17日(金) 14:00～16:00
場所 和泉総合高等学校 2F エンパワメントルーム
出席者 委員(敬称略) 寺脇会長・上條副会長・山内委員・大野委員・木村委員
学校・事務局 加納 校長・高橋 教頭・松下 教頭・舘 首席
徳増 首席・中津 教務主任・小谷内 生徒指導主事・中村 進路主事

議 事

1. 開会の辞

2. 校長挨拶

- ・今年度は、考査回数を5回から3回に減らし、チャレンジウィークに取り組んでいる
- ・教員数の減少に伴い、今後は担任の持ち方も検討している(教員アンケートを実施予定)

3. 学校の状況報告

- ①進路状況について(中村進路主事より)
- ②生徒指導について(小谷内生徒指導主事より)
- ③教務より(中津教務主任より)
- ④首席より
 - (ア) 支援関係・通級指導について(徳増首席)
 - (イ) 「テクノ工房」の活動報告(舘 首席)

4. 全体協議・質疑応答

- ①進路状況について
 - 進路未決定の14名の指導、引き続きお願いしたい(上條委員)
 - 求人票の読み取りソフト(Handy 進路指導部)の導入に伴い、生徒の主体性がすすむと良い(山内委員)
 - 和泉市も、デジタル採点をすすめている(大野委員)
 - 小学校では、教科教育を通して人格形成をするという側面が強い(木村委員)
- ②生徒指導について
 - 学年が上がるほど遅刻が多いのはなぜ?不登校の原因は?(上條委員)
 - 生徒の状況に合わせて、居場所を確保してあげる工夫も必要(山内委員)
 - 頭髪指導に関しては、だんだんと学校の指導から自己責任になってきている(大野委員)
 - 頭髪や服装に関しては学校として啓発はするが、基本は家庭のテリトリー(木村委員)
- ③教務より
 - 新追認制度とは、どんな制度か?(上條委員)
 - 観点別学習評価について、教科の平均値の下限を設定する必要があるか?(大野委員)
- ④首席より
 - ものづくりに関しては、PL法には要注意。完成した物品を収める際、使用に関する責任については相手方の自己責任になると明言しておく必要がある(上條委員)